

廃熱利用型 低コスト下水汚泥固形燃料化技術の実用化に関する実証事業

H24年度

実証事業実施者

JFEエンジニアリング株式会社

実証フィールド

松山市西部浄化センター

実証の概要

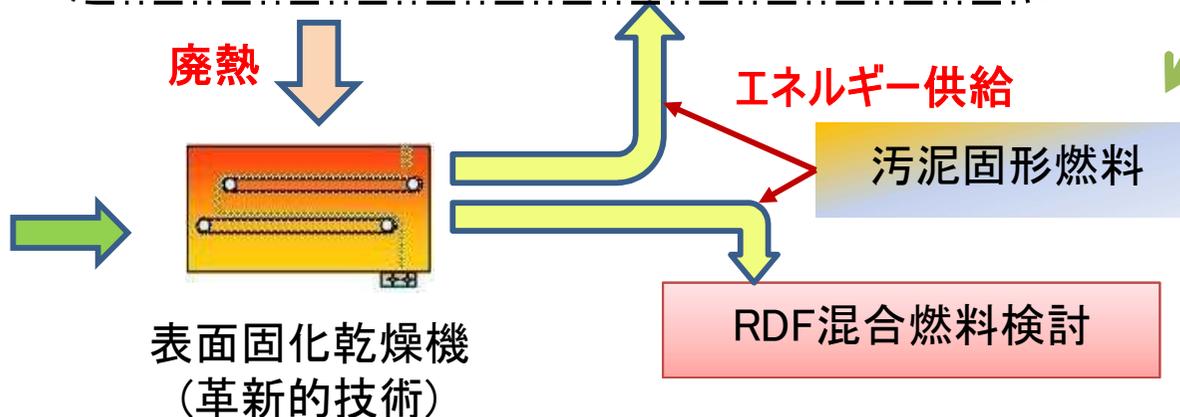
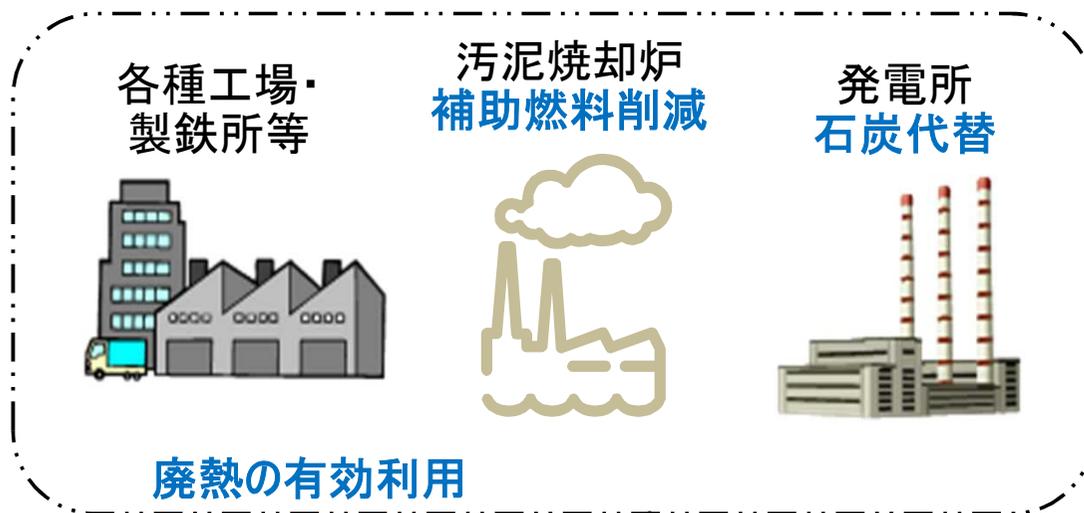
- ① 廃熱利用による低コスト汚泥固形燃料の製造実証
- ② 汚泥固形燃料の焼却炉利用による補助燃料削減効果の検証
- ③ RDFと下水汚泥との混合燃料を製造し化石燃料代替性を検証

【表面固化乾燥の特徴】(JFE社資料より)

- ◆ 省エネ乾燥(低温廃熱(200~300°C)利用)
- ◆ 保有熱量大(従来炭化燃料と比較して)
- ◆ 粉塵を抑制(棒状成形+静的な乾燥)
- ◆ 悪臭を抑制(固化膜形成による表面固化)



脱水汚泥



固形燃料化物

実証規模:
約4 [t-DS/day]